

令和5年度行政評価 事務事業評価シート(令和4年度実績)

事務事業コード	030301010	予算コード	01023000	従事人員(人)	投入コスト(千円)	評価	評価点	一次評価	A	
事務事業名	家庭児童相談室運営事業			正規職員数	1	国庫支出金	55	有効性	児童虐待を見守るネットワークである泉佐野市要保護児童対策地域協議会の充実を図るため、周産期支援部会では平成29～30年度は国のモデル事業「大阪府産前産後母子支援事業」へ参加。平成31年度以降も医療機関の医師等と情報共有を継続している。また、平成29年度より障害児支援部会を医療的ケア児支援のための協議の場と位置づけ、医療的ケアが必要な障害児が地域で適切な支援を受けられるよう協議を進めていく。	
担当課	子育て支援課			嘱託職員数	3.5	府支出金	55	B		
根拠法令等	法定受託以外の法令			臨時職員数	2	市債	0	効率性		B
	■法律・政令・省令 ■要綱・要領			歳出(千円)		その他	0	妥当性		C
	児童福祉法 児童虐待防止等に関する法律 泉佐野市要保護児童対策地域協議会設置要綱 泉佐野市要保護児童対策地域協議会児童虐待防止部会運営要領 泉佐野市要保護児童対策地域協議会周産期支援部会運営要領 泉佐野市要保護児童対策地域協議会障害児支援部会運営要領 泉佐野市要保護児童対策地域協議会教育支援部会運営要領			人件費総額	23,016	一般財源	23,920	受益者負担		該当なし
						減価償却費	0			
						事業費	1,014			
						フルコスト(千円)	24,030	緊急性		A
						市民1人当たりコスト(円)	243			
						活動指標	R4実績	公的関与		B
事務事業類型	運営事業			相談日数		243.0				
実施手法	市直営			相談件数		11,103.0		実施主体・委託化	B	
対象				子どもフリーダイヤル開設日数		243.0				
特定の市民	対象数			子どもフリーダイヤル受付数		53.0		他の事務事業との関連	A	
子育てに不安を抱えている家庭等										
事業の内容	家庭児童相談員が電話や面接、訪問等により育児や家庭の様々な困りごと等の相談に応じる。子どもフリーダイヤルにおいては、子どもからの相談に応じる。泉佐野市要保護児童対策地域協議会の調整機関として関係機関と連携を図り、児童虐待の早期発見、防止、対応を行う。			成果指標		R4実績	透明性	B		
				岸和田子ども家庭センターの相談件数		511.0				
				相談件数(市)		11,103.0		財政健全化計画	該当なし	
				子どもフリーダイヤル受付数		53.0		財政健全化の取組	該当なし	
事業の目的	児童に対するいじめや虐待等の防止及び保護を目的とし、家庭支援を行う。			コスト指標		R4実績	改革改善プラン達成度	該当なし		
				相談1件あたりの事業費		2,164.3				